

肩のチカラを抜いて、ざっくばらんな、それでいて政治の難しく厳しい現状を分かりやすくお話ししていきたいと思えます。もちろん、皆さんからの質問も受け付けます。「政治って何やるの?」「畑中ってどんなやつなんだろう?」どんな理由でも構いません。そしてここに来たらと政治色がつくというものでもありません。どうぞお気軽にお越しただければと思います。

日時：平成25年12月1日(日)
14時00分~16時00分
場所：パンセ羽衣 (3階学習室)
高石市羽衣 1-11-22

参加費：無料
持ち物：筆記用具などでかまいません
主催：たかいし考房

■ **編集後記**

● **手作りの議員活動にご理解ください。**

税金で働いている以上は、情報はフルオープンでなければならないという思いから限りある報酬と活動費でこのチラシをお配りしています。よって、チラシの校正、デザイン、印刷、ポスティングは自力でやっています。

特にポスティングは「まちの隅々まで自分の足で歩く」という目的もあるので、平均30km/日を10日間かけて配らせていただいております。恐れ入りますが「私の住んでるマンションだけでも入れてあげるよ」というお声をいただくと大変あり難いのが正直なところです。

いずれにしろ、私の4年間という時間とお金は皆様から与えられているもの。少しでも有効に活用できるようストイックに取り組みたいと考えています。

● **議会が一丸となれる改革を。**

今議会で我が会派「高志会」から議員定数の削減を提案しました。しかし、こういった問題は非常にデリケートに扱わなければ、パフォーマンスに終わり結実されないというケースを多く見てきました。どこかの自治体では「私は3名減らすべきだ」「私は4名だ」と違う数字を言い合って「合意に達しなかった」という市民を舐め切ったケースもあるぐらいです。

「提案をした」ということは一定の見込みがあるという裏返しでもあり、それは私たち以外でも同じ思いの議員さんがおられるという素地があればこそのこと。上記のような人気取り合戦にならぬよう数字に固執することなく他の議員さんと綿密に協議しながら進めていきたいと考えております。

■ **高石市議：畑中政昭** ■ **高石市羽衣3-4-16** ■ **gavhattan@hotmail.com**
 ■ **tel：072-263-0522 (携帯に繋がります)** ■ **fax：072-350-0857**
 ■ **昭和56年1月15日生 桃山学院高校卒、近畿大学卒、カンボジアでの体験、政治家インターンを経て現役に危機感をおぼえ、政治の道を志す。** ■ **会派「高志会」** ■ **最近読んで面白かった小説「血闘」**

■ **続きはWEBで。** **畑中まさあき** **検索** **日進月歩の前号、政策など色々な記事を書いています。** **twitter、Facebook もやっていますのでお気軽に友達申請、フォローして下さい。**



畑中政昭

高石の**未来**の**為**に
今、**す**べき**こ**と

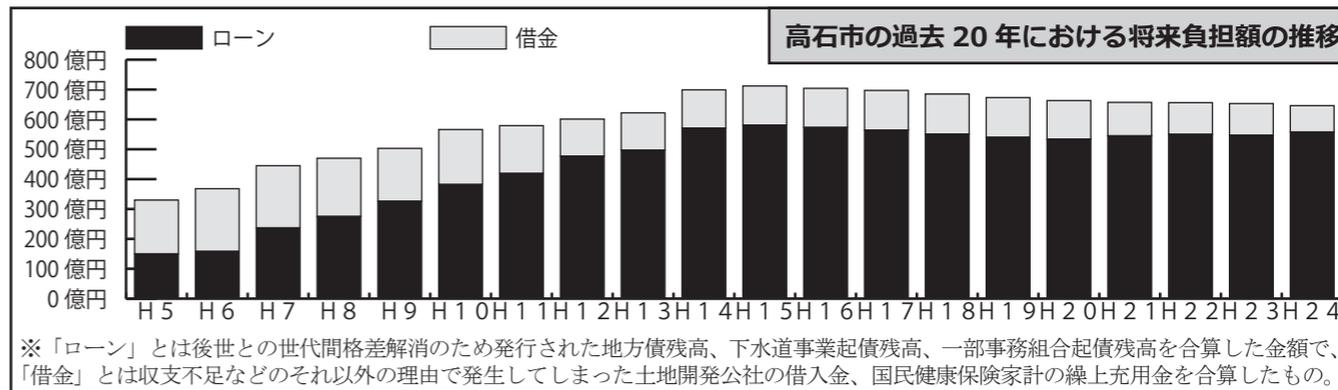
日進月歩

NO. 9



市政報告 / 発行元：畑中政昭

下の図は高石市の借金、それに類するもののすべてを計算して作ったグラフです。実態はさほど変わらないのですが、返済の性質がまったく異なる将来負担額については「ローン」と「借金」とに便宜上分けさせていただきました。ローンについては、下水道などのインフラ整備に要した負債なので後世にも相応の負担が求められるものも含まれています。平成24年度末現在で総額約640億円、市民一人当たり約110万円の負債を背負っていることになります。



私の考える未来への責任は、この将来負担を適度な市民サービスを維持しつつ減らしていくことにあります。大昔に道路敷設のために補助金で購入した土地があるのならば、その計画は中止できません、なぜなら補助金を返済しなければならないからです。税金がよかったときは「市が面倒見る」ということで低価で決めた施設の利用料金も現在では利用者の応分負担が求められる時代になりました。

財布のひもを縛らざるを得ないそんな状況下においても、子どもたちの教育、高齢者の安全、防災などの必要ある事業は進めていかなければなりません。厳しいお金の使い方、お金をかけなくてもできることなどが今まで以上に私たち政治家に求められています。今議会においても、未来のために今しておくべきこと、急いでしなければならないことを行政に訴えかけました。